

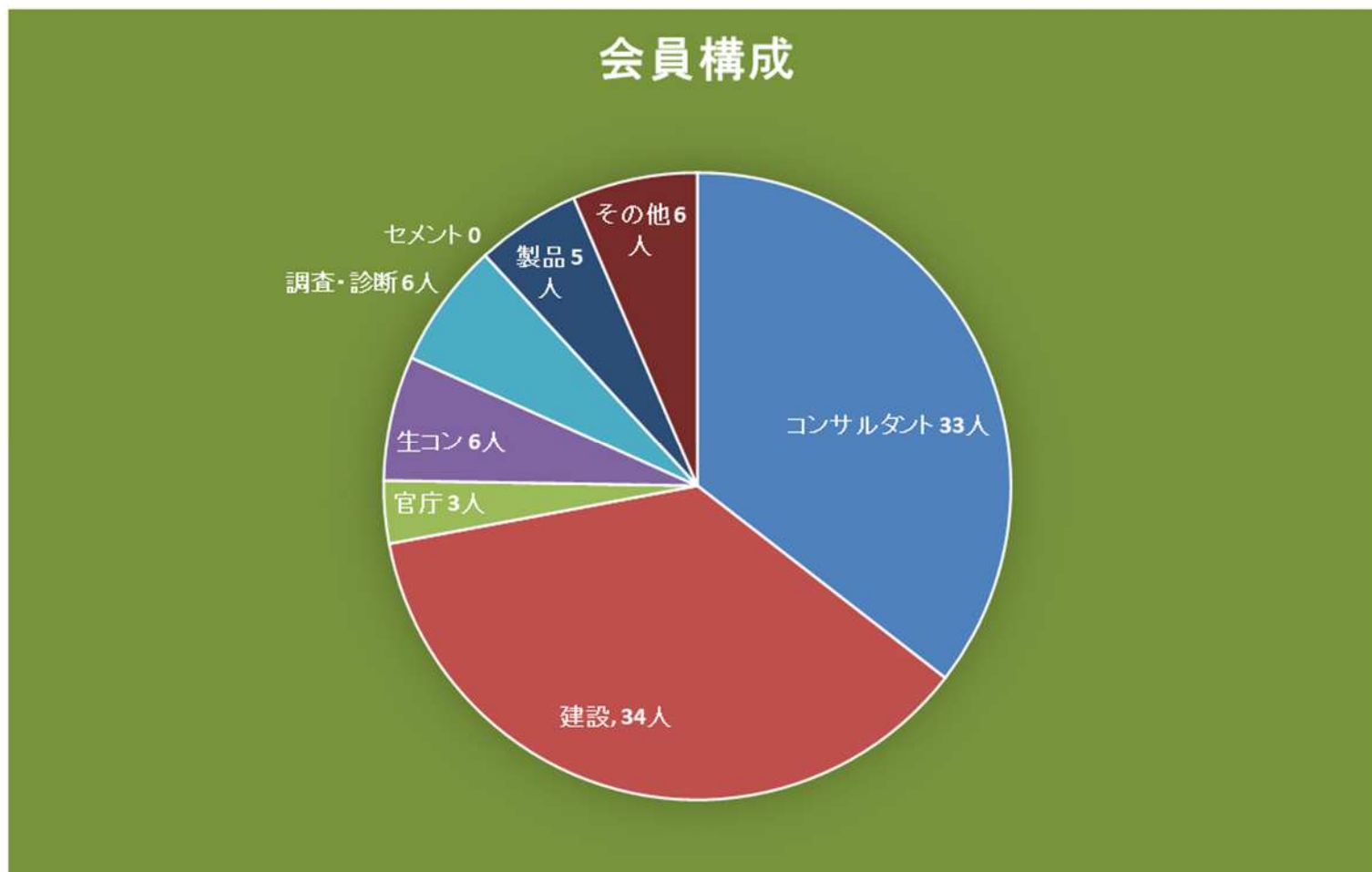
広島県コンクリート診断士会の活動報告

1. 会員構成
2. 組織構成
3. 活動内容
4. 2022年度活動報告
5. 2023年度の活動計画

1. 会員構成

設立: 2011年4月

会員数: 正会員93名, 賛助会員30社
(2023年6月現在)



2. 組織構成(役員一覽)

役職	氏名	所属
会長	十河 茂幸	近未来コンクリート研究会代表
副会長	岡田 繁之	(一財)橋梁調査会
理事(事務局長)	徳納 剛	福德技研(株)
理事	真鍋 孝志	復建調査設計(株)
理事	峯松 昇司	井上建設(株)
理事	江良 和徳	(一社)コンクリートメンテナンス協会 技術委員長
監事(理事)	西村 勝彦	戸田建設(株)
特別顧問	米倉 亜州夫	(株)米倉社会インフラ技術研究所 代表取締役 広島大学名誉教授 元広島工業大学教授
顧問	河合 研至	広島大学 大学院工学研究科 教授
顧問	竹田 宣典	広島工業大学 工学部環境土木工学科 教授
顧問	半井 健一郎	広島大学 大学院工学研究科 教授
顧問	坂本 英輔	広島工業大学 建築工学科 準教授

3. 活動内容

1. 総会⇒1回/年
2. 記念講演会⇒1回/年(総会と同時開催)
3. 役員会⇒6回/年(総会および定例会と同時開催)
4. 技術定例会⇒5回/年
5. 中国地方整備局と中国5県診断士会との意見交換会⇒1回/年
6. 講師派遣⇒① (一社)広島県測量設計業協会(4月)
「コンクリート診断士受験対策講習会」
② 広島市役所(6月)
土木専門研修
「コンクリート(材料・施工・品質管理)」
③ その他
7. 緊急時のコンクリート調査・診断・補修の公共支援⇒随時
8. 現場研修会⇒2回/年

4. 2022年度活動報告

1. 総会・記念講演会

	開催日	内容
第12回	R4. 6	総会議事：①令和3年度事業報告、②令和4年度事業計画ほか ③記念講演(講師 中国地方整備局 道路部 道路保全企画官 梅田俊夫 氏) 新型コロナウイルスの影響により懇親会は中止となりました。

2. 技術定例会

	開催日	開催テーマ	講師
第48回	R4. 4. 13	特別講演 演題：PC橋の損傷と補修事例 賛助会員企業 の技術 紹介 フローリックのご紹介	岡田繁之 氏 (広島県コンクリート診断士会副会長) (株) フローリック
第49回	R4. 8. 19	特別講演 演題：鋼構造物塗替え塗装における事故事例と対策 (有機溶剤 一酸化炭素 火災 熱中症 鉛中毒)	青柳 真輔 氏 (大塚刷毛製造株式会社)

※総会以外の行事はいずれもCPD認定プログラムである。

第 50 回	R4. 10. 11	<p>特別講演</p> <p>演題：セメント・コンクリートの環境影響とカーボンニュートラルへ向けて</p> <p>賛助会員企業の技術紹介</p> <p>演題：二液混合型注入止水工法「ミクストグラウト」</p>	<p>河合 研至 教授 (広島大学 大学院先進理工系科学研究科)</p> <p>柘田 隆 氏 (株式会社 MASUDA 代表取締役)</p>
第 51 回	R4. 12. 7	<p>特別講演(1)</p> <p>演題：予防保全を目的としたコンクリート構造物の点検要領</p> <p>特別講演(2)</p> <p>演題：国土交通省との意見交換について</p>	<p>十河 茂幸 氏(会長)</p> <p>岡田 繫之 氏(副会長)</p>
第 52 回	R5. 2. 14	<p>特別講演</p> <p>演題：脱炭素に向けた取り組み</p> <p>賛助会員の技術紹介</p> <p>演題：技術+ノウハウ+実績を活かすアイレック技建の多様な事業領域</p>	<p>坂本 英輔 教授 (広島工業大学工学部建築工学科)</p> <p>竹下 竜之介 氏 (アイレック技建株式会社)</p>

技術定例会(隔月開催)

総会・記念講演

2022/06/16 中建日報



十河会長

広島県コンクリート診断士会（十河茂幸会長）

総会を3年ぶり通常開催 定例会などより活発化へ 広島県コンクリート診断士会

は10日、広島市中区で第12回総会を開催。2021年度事業・決算報告など各議案を慎重審議したほか、22年度は定例会などの事業をより活発に推進し、中国地方整備局と中国5県の診断士会による意見交換会などを企画していくとした。

総会は3年ぶりの通常開催。冒頭のあいさつで十河会長（近未来コンクリート研究会）は、沈静化したつつあるコロナ禍を踏まえた今後の事業展開に触れ、「設立以来定期開催している定例会の活動をより一層活発化させ

たい。会員の皆様の役に立つ内容を盛り込み、2カ月に1回程度の開催を目指していく」と強調した。

議事では、感染対策を実施しながら取り組んだ定例会（第46、48回）やコンクリート調査・診断・補修業務への講師派遣事業などの21年度事業報告と収支決算を滞りなく承認。

22年度新規会員として2人、賛助会員2社を迎えて会員数92人、賛助会員29社となったことも報告し、22年度はコンクリートの調査・診断・補修技術に関する情報収集及び提供、会員の親睦・技術研鑽、調査・診断・補修業務の支援などの従来事業を実施していくほか、中国5県の診断士会と連携し、中国地方整備局との意見交換会を開催予定であるとした。

このほか、記念講演も開かれ、中国地方整備局道路部の梅田俊夫道路保全企画官が「国土交通行政に係る最近の動向について」をテーマに取り組み状況などの説明を行った。

定例会

2022/12/09 中建日報

広島県コンクリート診断士会 予防保全への点検要領など披露 第51回定例会開く

広島県コンクリート診断士会（十河茂幸会長）は7日、第51回となる定例会を広島市中区で開催。十河会長（近未来コンクリート研究会）が直々に演壇に立ち、「予防保全を目的とした鉄筋コンクリート橋梁の点検要領」を披露するなど、



約40人の会員・賛助会員らが熱心に聴講した。定例会は、会員の技術向上や情報交換を目的に隔月、参加無料で開いているもの。冒頭のあいさつで十河会長は、「感染者が増加している状況だ

が、今回のように対面方式でやれるのは演者としてもやりやすい。感染予防対策に気を配りながら、しっかりと聞いて帰ってほしい」とし、定例会の場についても、「手持ちの情報発信や賛助会員

の皆様が技術宣伝にも大いに活用してもらえれば」と呼びかけた。

講演の中で十河会長は、現在の5年点検の中心となっている打音検査と近接目視では、本来行うべき予防保全ではなく事後保全になっていると指摘。中性化深さ測定や塩化物イオン量から腐食の可能性を予測、調査して対策の時機を予測すること、予防保全への転換が可能になるとした。

また、後半では岡田繁之副会長（橋梁調査会）が「国土交通省との意見交換会について」をテーマに講演。今年6月に中国5県のコンクリート診断士会と合同で実施した中国地方整備局との意見交換における要望事項とその回答の内容などについて説明した。



3. 中国地方整備局と中国5県診断士会との意見交換会

(2022/06/27 実施)

同

中 建 日 報

(土・日曜 祝日 休刊)

2022年(令和4年)7月4日(月曜日)



中国地方整備局と中国5県のコンクリート診断士会による意見交換会が6月下旬、広島市中区の合同庁舎内で開かれた。会合では、各県の診断士会が展開している技術者育成や講師派遣などの活動内容を報告したほか、中国地方における老朽化対策の取り組みなどについて情報共有。また、RCCMや技術士などを引き合いに、入札契約制度における診断士の処遇改善などを求めた。

中国地方整備局からは道路部の森岡敏幸特定道路工事業対策官、梅田俊夫道路保全企画官ら改築・保全部の2名、中国5県のコンクリート診断士会の十河茂幸会長（近未来コンクリート研究会）をはじめ、岡山県の澤嗣郎会長（エイ日本技術開発）、山口県の瀬原洋一会長（トキワコンサルタント）、島根県の松浦寛司会長（エイト日本技術開発）、鳥



発行所
中建日報社
 広島市中区十日市町2-1-8
 〒730-0805 TEL (082) 297-7111(代)
 FAX (082) 297-7112
<https://chuken-news.com/>
 E-mail: info@chuken-news.com
 購読料 1ヶ月 8,950円
 © 中建日報社 2022

診断士の処遇改善など要望

第2回意見交換会開く

整備局と
5県診断士会

中国地方整備局と中国5県のコンクリート診断士会による意見交換会が6月下旬、広島市中区の合同庁舎内で開かれた。会合では、各県の診断士会が展開している技術者育成や講師派遣などの活動内容を報告したほか、中国地方における老朽化対策の取り組みなどについて情報共有。また、RCCMや技術士などを引き合いに、入札契約制度における診断士の処遇改善などを求めた。

会合は、両者が情報共有によって維持補修事業の円滑な推進、診断士の地位向上につなげるためのもので、2020年度に第1回目が開かれ、今回が2回目。

中国地方整備局からは道路部の森岡敏幸特定道路工事業対策官、梅田俊夫道路保全企画官ら改築・保全部の2名、中国5県のコンクリート診断士会の十河茂幸会長（近未来コンクリート研究会）をはじめ、岡山県の澤嗣郎会長（エイ日本技術開発）、山口県の瀬原洋一会長（トキワコンサルタント）、島根県の松浦寛司会長（エイト日本技術開発）、鳥

取県の田中孝志会長（西谷技術コンサルタント）ら5県の会長・副会長クラスが参集した。

冒頭、十河会長は「コンクリート診断士資格者は全国で約1万4000人、中国5県では約1100人しかおらず、合格率も15%前後と狭き門。難しい試験を突破した技術者に活動の場をしっかりと与えてもらいたいというのが正直なところ。今回の意見交換が有意義なものになるようお願いしたい」と強調した。

意見交換で主な議題となったのは、診断士の処遇改善や適切な維持補修に向けたさらなる連携、補修・再劣化事例の積極的な情報開示などについて。

処遇改善では、診断士が国交省の登録資格で「計画・調査・設計」ではなく「点検・診断」に位置付けられ、補修設計

業務の入札に参加できない状況の改善を求めたことに対し、地整側は「申請主義なので、合致するのであればそちらで申請するよう協会内でも検討してほしい」としたほか、「工事に橋梁補修の資格ができたように、橋梁の補修設計をという話は理解できる。制度面も含めて確認が必要だ」と回答。

融雪剤として使われ、塩害を引き起こす要因となっている塩化カルシウムに代わる材料の検討については、「入手しやすさや安定量の確保を考えると、現時点で代替は難しい」とし、各診断士会が定期開催している勉強会への講師派遣や現場見学会のフィールド提供の要請には、「ご要望いただければ個別に調整する」と承諾。地整側も国が主催する研修会などへの技術的助言などを診断

4. 講師派遣

- 1) (一社)広島県測量設計業協会の要請により
「コンクリート診断士受験対策講習会」(R4.4.14)
に講師を派遣しました。
- 2) 広島市の要請により
「令和4年度土木専門研修」(R4.6.16)に講師を派遣しました。
- 3) 中国技術事務所の要請により
「令和4年度橋梁管理実務者Ⅱ研修」(R4.10.5)に
講師を派遣しました。

2023年度活動計画

1. 第13回通常総会(6月23日)
2. 記念講演会(総会と同時開催)
3. 役員会(定例会および総会日に実施)
4. 技術定例会(隔月開催)
5. 中国地整との意見交換会(7月11日)
6. 技術支援講習会:講師派遣
 - ① (一社)広島県測量設計業協会(4月)
「コンクリート診断士受験対策講習会」
 - ② 広島市役所(6月)
土木専門研修
7. 緊急時のコンクリート調査・診断・補修の公共支援⇒随時
8. 現場研修会2回(補修工事現場, 旧呉鎮守府内地下遺構)